

2008年度事業報告

I. 事業の状況

2008年度事業は以下のとおり実施した。

1. 野球競技の普及振興及び調査研究

野球競技の普及振興を図るため、次の措置を講じた。

- (1) 野球競技の普及振興を図るため、全日本アマチュア野球連盟の行う事業への支援並びに(財)日本学生野球協会、各少年野球団体等との連携及び協力関係の強化促進。
- (2) 野球競技者の体位向上並びに栄養学、予防医学に関する調査研究及びその成果の活用。
- (3) 各地域における野球競技の普及振興を図るため、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成の充実。
- (4) 日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認スポーツ指導者認定事業に係る調査検討。
- (5) 連盟内に委員会を設置し、理事会に対して答申をした。
- (6) ティー・ボール普及事業の実施。
- (7) (財)世界少年野球推進財団とともに、第19回世界少年野球大会・愛知・名古屋大会(7月28日から8月4日、愛知・名古屋市、東海市、一宮市、豊田市内で開催)を主催し、3名の委員を派遣した。

2. 野球競技に関する講習会の開催並びに指導者、審判員及び記録員等の養成

(1) 第32回指導者研修会

1月12日から2日間、熱海後楽園ホテル<静岡県>で行われ加盟チーム監督等79名が参加した。

(2) 第50回審判員講習会

2月22日から3日間、千葉マリスタジアム<千葉県>に於いて、各地区の審判員55名が参加して行われた。なお、アジア地域の野球振興の一環として、アジア野球連盟と協力し、7カ国・地域(インド、インドネシア、香港、タイ、マレーシア、パキスタン、フィリピン)から、8名の審判委員を受け入れた。

(3) 地域開催審判講習会に対する指導員派遣事業

2008年度は、12件(リトルシニア、九州、四国、長崎、東北、茨城、千葉、秋田、新潟、宮崎、北海道、北信越)の申請がありそれぞれ委員を派遣した。

(4) 記録員講習会

8月29日から12日、間東京ドームに於いて開催された第79回都市対抗野球大会において記録員講習の実地研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録員を担当した。

(5) 第20回ストレンジスコーチ研修会

例年12月に実施しているが、競技力向上委員会において協議した結果、本年度は、対象となるストレンジス担当コーチに対し、監督やコーチと同じテーマで研修を受けてもらうこととし、1月に実施予定の指導者研修会と合同開催とした。

(6) 第26回新人研修会

10月23日から4日間、Honda鈴鹿グランド<三重県>で行われ、各地区連盟からの推薦に基づき競技力向上委員会で選考した47名の選手が参加した。競技力向上委員会委員が指導を担当した。

3. 野球競技に関する全国規模の各種国内大会の開催

(1) 第79回都市対抗野球大会

8月29日から12日間、東京ドームで開催された本大会では、神奈川地区代表の「横浜市・新日本石油ENEOS」（2年連続43回目の出場）が13年ぶり9度目の優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。また、同チームを本連盟代表として、『日伯交流年ブラジル日系移民100周年行事』として行われた交流試合に派遣した。10月8日から22日までの15日間で7試合を行った。（資料2参照）

(2) 第33回全日本クラブ野球選手権大会

8月8日から4日間、周南市野球場・防府スポーツセンター野球場<山口県>で開催された本大会では、関東地区代表の「茨城ゴールデンゴールズ」（4年連続4回目の出場）が初優勝を飾った。

(3) クラブ各ブロック大会

2006年度より制定され3年目を迎えたクラブカップ大会は、全国を3ブロックに分けて以下のとおり行われた。出場は、全日本クラブ選手権大会予選において次点となったチームとし、それぞれ8チームにより大会を行った。

① 第3回東日本クラブカップ大会

8月9日から2日間、足利市総合運動野球場<栃木県>で開催。
赤崎野球クラブ<東北地区>が優勝した。

② 第3回中日本クラブカップ大会

8月9日から2日間、長野オリンピックスタジアム<長野県>で開催。
大富士BASEBALL CREW<関東地区>が優勝した。

③ 第3回西日本クラブカップ大会

8月9日から2日間、坊ちゃんスタジアム<愛媛県>で開催。
阪神ベースボールクラブ<近畿地区>が優勝した。

(4) 第35回社会人野球日本選手権大会

11月13日から11日間、京セラドーム大阪で開催された本大会は、東海地区代表の「トヨタ自動車」（6年連続9回目の出場）が2年連続2度目の優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

(5) 2008年度各JABA公式大会

2008年度各JABA公式大会の結果（主要大会のみ）・・・（資料2参照）

4. 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合の開催に対する代表参加者の派遣 国際大会等に参加する日本代表チームの代表参加者の派遣

①第24回ハーレムベースボールウィーク

世界大学選手権に派遣される18名とこの大会のみ参加の6名、計24名の大学生選手を派遣した。キューバとオランダは北京オリンピック代表、アメリカと中華台北は世界大学代表が参加した。

日 程：7月4日（金）～13日（日）

開催地：オランダ ハーレム市

成 績：1位アメリカ、2位キューバ、3位中華台北、4位日本、
5位オランダ、6位オランダ領アンチル諸島

②第4回FISU世界大学選手権

ハーレムに参加の18名に4名が合流し、計22名の大学生選手を派遣した。決勝のアメリカ戦は0-1（延長12回）で惜敗したが、準優勝を飾った。

日 程：7月17日（木）～27日（日）

開催地：チェコ ブルノー市他

成 績：1位アメリカ、2位日本、3位韓国、4位中華台北、5位カナダ、
6位チェコ、7位リトアニア

③第29回オリンピック競技大会（2008/北京）

NPBトッププロ選手24名を派遣したが、残念ながらメダル獲得はならなかった。

日 程：8月13日（水）～23日（土）*野球競技期間

開催地：中国 北京市

成 績：1位韓国、2位キューバ、3位アメリカ、4位日本、5位中華台北、
6位カナダ、7位オランダ、8位中国

④ENEOS第3回IBAF女子ワールドカップ・・・（資料2参照）

日本が初優勝を飾った。日本野球連盟からの1名、日本女子野球協会からの17名、計18名を派遣し、6戦全勝で完全優勝した。新日本石油がメインスポンサーとして協賛した。

日 程：8月24日（日）～29日（金）

開催地：愛媛県松山市

成 績：1位日本、2位カナダ、3位アメリカ、4位オーストラリア、
5位中華台北、6位韓国、7位インド、8位香港

- ⑤ シダックスカップ第5回BFA AAアジア選手権（16歳以下）
・・・（資料2参照）

KB野球連盟から18名の選手を派遣し、優勝を飾った。

シダックスがメインスポンサーとして協賛した。

日程：8月25日（月）～29日（金）

開催地：静岡県中伊豆

成績：1位日本、2位中華台北、3位全座間、4位全伊豆、5位韓国、
6位フィリピン、7位香港、8位タイ

- ⑥第4回BFA Aアジア選手権（12歳以下）

全日本軟式野球連盟の第28回全日本学童軟式野球大会の優勝チームを派遣し、準優勝を飾った。

日程：12月25日（木）～29日（月）

開催地：香港

成績：1位中華台北、2位日本、3位韓国、4位中国、5位インドネシア、
6位フィリピン、7位パキスタン、8位香港

5. 野球競技者の競技力向上の推進

（1）日本代表チーム強化練習への候補選手及び選手等の派遣

- ①第1回強化合宿（大学生）

6月21日（土）～23日（月）＜神奈川県平塚市＞

- ②第2回強化合宿（世界大学選手権直前）

7月1日（火）～7月2日（水）＜東京都内＞

- ③第3回強化合宿（社会人）

7月24日（木）～27日（日）＜山形県鶴岡市＞

- ④第4回強化合宿（大学生）

11月28日（金）～30日（日）＜愛媛県松山市＞

（2）プロ・社会人交流試合の実施・・・（資料2参照）

6. 野球競技に関する競技規則の制定

日本アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技規則の整備と制定に参画した。

7. 野球競技の競技施設並びに用器具等の指導及び公認

（1）各地区における野球競技施設の指導及び公認

（2）使用球及び金属製バットの公認

- ① 使用球の公認＝イソノ、ミズノ、久保田、松勘工業、ナガタ、スミヤ、那須、
ゼット、エスエスケイ、アシックス、一光スポーツ、ハイゴールド
以上12社

※準公認 サンアップ

- ② 金属製バットの公認＝“新安全基準”に適合するバット

（Nマーク記号のあるもの）のみの使用に限定。

(3) 用器具等の指導及び公認

(財)製品安全協会に委員を派遣し、意見具申。

(4) 「NPO法人アオダモ資源育成の会」への参画

「アオダモ資源育成の会」に委員を派遣。

8. 財団法人日本体育協会及び全日本アマチュア野球連盟に対する加盟並びにそれらの事業への協力

(1) (財)日本体育協会への協力

- ① (財)日本体育協会に役員等を派遣し、意見具申。
- ② 全国スポーツ指導者連絡会議に委員を派遣し、意見具申。

(2) 全日本アマチュア野球連盟の事業に対し、次の措置を講じた。

- ① 全日本アマチュア野球連盟の事業に対する分担金を拠出した。
- ② 全日本アマチュア野球連盟が行った4の(1)及び5の(1)の事業に対し、競技者及び役員等の派遣

9. 全日本アマチュア野球連盟を通じた国際野球連盟、アジア野球連盟、全日本野球会議及び財団法人日本オリンピック委員会の事業に関する協力

(1) 国際野球連盟（IBAF）及びアジア野球連盟（BFA）への参画

- ① BFA執行委員会 2008年2月29日<韓国・ソウル>
出席：鈴木全アマ副会長、小檜山全アマ国際担当
- ② IBAF執行委員会 2008年4月26日<スイス・チューリッヒ>
出席：松田全アマ会長、小檜山全アマ国際担当
- ③ IBAF執行委員会 2008年8月8日<中国・北京>
出席：松田全アマ会長、田和全アマ専務理事
- ④ 北京五輪 2008年8月13日～23日<中国・北京>
出席：松田全アマ会長、川嶋全アマ副会長、田和全アマ専務理事
- ⑤ BFA執行委員会 2008年9月25日<日本・札幌>
出席：鈴木全アマ副会長、田和全アマ専務理事
- ⑥ IBAF執行委員会 2008年12月1日<イギリス・ロンドン>
出席：田和全アマ専務理事

(2) 全日本野球会議への参画

- ① 全日本野球会議幹事会へ代表者が出席し、意見具申
- ② 全日本野球会議全体会議へ代表者が出席し、意見具申
- ③ 各委員会主催事業への参画

- ・日本代表編成委員会
 - 〔編成強化部会〕 日本代表チームの強化に関する諸事業の企画・運営にあたるため、委員を派遣。
 - 〔医科学サポート部会〕 日本代表チームを医科学の面からサポートするため、委員を派遣。
 - 〔マーケティング部会〕 日本代表チームの強化事業を財政的にサポートすることを目的とした収益活動を推進するため、委員を派遣。
- ・技術指導委員会

野球指導者講習会（1月18日～20日＜千葉県＞）の開催や指導者の派遣等に関わる委員等の派遣。
- ・普及・振興委員会

全国各地で開催される野球教室等の支援に関わる事業を推進するための委員の派遣。
- ・審判技術委員会

プロ・アマ審判代表者で構成され、審判技術の研究並びにアンパイアスクール（11月29日～30日＜埼玉＞）の実施に関わる委員を派遣。
- ・国際委員会

国際的な諸問題にプロ・アマ協力して取り組んでいくために設けられた委員会。プロ・アマ双方から委員を派遣。

10. 野球競技に関する刊行物の発行

- (1) 「財団法人 日本野球連盟 連盟報」（2008年版）の発行
- (2) 2008年版「公認 野球規則」の発行
- (3) 「JABAニュース」の発行
- (4) 社会人野球ガイドブック「グランドスラム」（小学館刊行）に対する制作協力

11. 諸外国における野球競技の普及振興に関する協力援助

アジア野球連盟加盟国等に対する援助

- (1) 用具の提供：アジア野球連盟加盟諸国に対する用具提供を行った。
- (2) コーチの派遣：アジア野球連盟の要請に応じ、全日本アマチュア野球連盟を通じて下記の通りコーチを東南アジア各国派遣した。
 - ① 派遣国：香港
 - 期 間：2008年7月4日～7月8日
 - コーチ：澤田勝彦氏、山下智茂氏
 - ② 派遣国：マレーシア
 - 期 間：2008年7月30日～8月8日
 - コーチ：池田善吾氏、井尻陽久氏
 - ③ 派遣国：タイ
 - 期 間：2008年10月21日～10月25日
 - コーチ：森二郎氏、後勝氏

1 2. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 野球競技の普及振興等協議のため、地区連盟会長等との懇談会（8月30日）開催。
- (2) (財)野球体育博物館に役員、評議員を派遣し、意見具申。
- (3) (財)スポーツ安全協会に評議員を派遣し、意見具申。
- (4) 岩手・宮城内陸地震に対する義援金の拠出・・・（資料2参照）
6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に対する義援金を拠出した。長年にわたり一関市長旗大会の運営に尽力をいただいている一関市を通じて被災地へ寄附した。
- (5) 五輪復活キャンペーン負担金の拠出。
全日本アマチュア野球連盟は、プロ野球を統括する日本野球機構との合同の事業として野球競技五輪復活キャンペーン（資料2参照）を実施することとし、本連盟も各事業に参画し負担金を拠出した。

◇ その他

(1) 都市対抗野球大会補強選手の合流時期の制限に関する件

都市対抗野球大会補強選手は、開幕日の2週間（14日）前から、出場チームの練習に合流することができることとした。（11月12日理事会議決）

- (2) 2008年度加盟団体及び加盟チームの推移・・・（資料2参照）
- (3) 2008年度加盟団体加盟チーム数及び登録者数・・・（資料2参照）
- (4) 2008年度一般賛助（JABAクラブ）会員数・・・（資料2参照）
- (5) 2008年度 社会人野球ベストナイン表彰

位 置	氏 名	年 令	所 属	回 数
投 手	田 澤 純 一	2 2	新日本石油ENEOS	初
捕 手	山 岡 剛	2 5	新日本石油ENEOS	初
一塁手	宇多村 典 明	2 6	J R 九 州	初
二塁手	柳 田 俊 幸	2 7	新日本石油ENEOS	初
三塁手	宮 澤 健太郎	2 8	新日本石油ENEOS	初
遊撃手	澤 村 幸 明	2 8	日 本 通 運	初
外野手	荻 野 貴 司	2 3	ト ヨ タ 自 動 車	初
	川 端 崇 義	2 3	J R 東 日 本	初
	大 島 洋 平	2 3	日 本 生 命	初
指名打者	新 田 玄 気	2 6	パ ナ ソ ニ ッ ク	初

(6) 2008年度諸会議開催状況

① 評議員会		
第1回定時評議員会	2月18日	エドモントホテル
第1回臨時評議員会(文書)	11月6日	
第2回臨時評議員会(文書)	12月22日	
② 理事会		
第1回定時理事会	2月18日	エドモントホテル
第1回臨時理事会	8月28日	東京ドームホテル
第2回定時理事会	11月12日	ホテル日航大阪
③ 常任理事会		
第1回常任理事会	2月6日	連盟会議室
第2回常任理事会	8月5日	連盟会議室
④ 各委員会		
事業委員会	7月23日	連盟会議室
	12月14日	連盟会議室
事業運営地域部会	12月18日	連盟会議室
競技力向上委員会	1月12日	熱海後樂園ホテル
	8月30日	東京ドーム
	11月23日	京セラドーム大阪
規則・審判委員会	5月9日	連盟会議室
	11月30日	京セラドーム大阪
⑤ 各地区連盟会長会議	8月30日	東京ドーム
⑥ 各地区連盟事務担当者会議	11月14日	京セラドーム大阪

(7) 2008年度慶弔及び事務局人事

◇ 表彰

- ・ 第58回日本スポーツ賞(読売新聞社)において、第79回都市対抗野球大会で6度目の優勝を飾った「横浜市・新日本石油ENEOS」チームに2008年度競技団体別最優秀賞が贈られた。

◇ 逝去

2008年 6月 3日 田村 稔(参与)
2008年 7月 1日 長澤 正夫(顧問)

◇ 事務局人事

2008年 2月28日退任 総務課長 藤嶺 典優
(JR東日本に復職)
2008年 3月 1日発令 総務課主任 北村 隆幸
(JR東日本から出向)
2008年10月31日退任 事業課主任 外立 俊之

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成20年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当
理事	松田 昌士	平成17年 2月21日	会長・会長の職務	なし
理事	鈴木 義信	平成 3年 2月13日	副会長・理事会、事業計画	有
理事	川島 勝司	平成 5年 2月18日	副会長・競技力向上	なし
理事	朝比奈 豊	平成18年10月10日	副会長・特命事項	なし
理事	後 勝	平成 9年 2月19日	専務理事、理事会、事務局	有
理事	柳 俊之	平成11年 2月19日	北海道地区連盟	なし
理事	根津 裕彦	平成12年 2月22日	中国地区連盟	なし
理事	原田富士雄	平成12年 2月22日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	野端 啓夫	平成12年 2月22日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	小暮 昇吾	平成13年 2月20日	関東地区連盟	なし
理事	瀬藤 宣彦	平成13年 2月20日	九州地区連盟	なし
理事	林 省司	平成13年 2月20日	四国地区連盟	なし
理事	山田 智千	平成15年 2月20日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	麻生 紘二	平成16年 1月23日	審判・野球規則	なし
理事	渡邊 学	平成17年 2月21日	東北地区連盟	なし
理事	押谷 武治	平成19年 2月26日	東海地区連盟	なし
理事	藤田 孝二	平成19年 2月26日	近畿地区連盟	なし
理事	大田垣耕造	平成19年 2月26日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	西條 明博	平成19年 2月26日	北信越地区連盟	なし
理事	上遠野健一	平成19年10月15日	常任理事・理事会、事業計画	なし
監事	川嶋 弘	平成17年 2月21日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし
監事	荒木 康次	平成17年 2月21日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし
監事	藤岡 行弘	平成17年12月27日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	後 勝	平成11年 4月 1日	事務局総括	有	兼理事
次長	崎坂 徳明	平成 3年 3月18日	局長補佐	有	
国際事業企画課長	柴田 譲	平成 8年 9月 1日	一般事務	有	
総務課長	鈴木 健一	平成19年 4月 1日	一般事務	有	出向
係長	遠藤 周子	平成 9年 1月 1日	一般事務	有	
主任	藤本 溪	平成19年 4月 1日	一般事務	有	
主任	池田 浩子	平成14年 4月 1日	一般事務	有	
主任	北村 隆幸	平成20年 4月 1日	一般事務	有	出向

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2月18日	議案第1号 人事に関する件	承認
	議案第2号 2007年度事業計画実施に関する件	承認
	議案第3号 2007年度収支決算に関する件	承認
	議案第4号 都市対抗野球大会に関する件	承認
	議案第5号 全日本アマチュア野球連盟関係事業に対する負担金に関する件	承認
	議案第6号 2008年度事業計画に関する件	承認
	議案第7号 2008年度収支予算案に関する件	承認
8月28日	諮問第1号 各委員会報告書に関する件	承認
	議案第1号 人事に関する件	承認
	諮問第1号 岩手・宮城内陸地震に対する義援金の拠出に関する件	承認
11月12日	諮問第2号 事業計画の変更並びに第一次補正予算案に関する件	承認
	諮問第3号 各種事業について	承認
	議案第1号 人事に関する件	承認
11月12日	議案第2号 2008年度事業計画の変更並びに第二次補正予算案に関する件	承認
	諮問第1号 2009年度事業計画案に関する件	承認
	諮問第2号 2009年度各種年会費に関する件	承認
	諮問第3号 2009年度暫定収支予算案に関する件	継続審議
	諮問第4号 社会人制度改革について	承認
	議案第3号 都市対抗野球大会補強選手の合流時期の制限に関する件	承認

(2) 評議員会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2月18日	諮問第1号 2007年度事業計画案に関する件	承認
	諮問第2号 2007年度収支決算に関する件	承認
	諮問第3号 2008年度事業計画案に関する件	承認
	諮問第4号 2008年度各種負担金等に関する件	承認
	諮問第5号 2008年度収支予算案に関する件	承認
11月6日	議案第1号 理事の選任に関する件	承認
12月22日	議案第2号 事業計画の変更並びに第一次補正予算案に関する件	承認
	議案第1号 2008年度事業計画の変更ならびに第二次補正予算案に関する件	承認

4. 許可及び承認に関する事項

該当なし

5. 寄附行為に関する事項

(単位：円)

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備考
国内野球事業の普及と振興	(財) 水野スポーツ振興会	1,000,000	1,000,000	
国内野球事業の普及と振興	(株) エスエスケイ	1,000,000	1,000,000	
国内野球事業の普及と振興	(社) 日本野球機構	10,000,000	10,000,000	

6. 主務官庁指示に関する事項

該当なし

8. その他重要事項

該当なし

登録者の異動状況書

登録者種別	登録者数		増減数	適用
	平成20年度12月31日現在	平成19年度12月31日現在		
役員	2,022名	2,015名	7名	
競技者	11,595名	11,884名	▲289名	
一般	2,014名	1,950名	64名	
合計	15,631名	15,849名	▲218名	

▲は減